【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公開番号】特開2012-195745(P2012-195745A)
【公開日】平成24年10月11日(2012.10.11)
【年通号数】公開・登録公報2012-041
【出願番号】特願2011-57870(P2011-57870)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　12/28　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　12/28　　２００Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月12日(2014.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ホスト装置に、
ネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報を保持させ、
前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を取得させ、
取得された前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を保持させ、
前記ネットワークに前記第１のネットワーク装置と異なるネットワーク装置が設置されることを検出させ、
第２のネットワーク装置が設置されたことを検知した時、検出された第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、保持された前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定する設定指示を出させること、
を実行させることを特徴とするネットワーク設定プログラム。
【請求項２】
前記ネットワーク情報は、ＩＰアドレスを含む、請求項１に記載のネットワーク設定プログラム。
【請求項３】
前記第２のネットワーク装置への前記設定指示は、前記第２のネットワーク装置のＩＰアドレスが工場出荷時のＩＰアドレスである場合に実行される、請求項１または２に記載のネットワーク設定プログラム。
【請求項４】
前記ネットワーク装置は、プリンターである、請求項１乃至３のいずれか１項に記載のネットワーク設定プログラム。
【請求項５】
ネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報、及び前記第１のネットワークの機種を記憶する記憶部と、
前記ネットワークに第２のネットワーク装置が設置されたことを検出する検出部と、

前記第２のネットワーク装置が設置されたことを検出した時、前記第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定するネットワーク設定部と、
を有することを特徴とするネットワーク設定装置。
【請求項６】
ホスト装置でネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報を保持し、
前記ホスト装置で前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を取得して保持し、
前記ホスト装置で前記ネットワークに第２のネットワーク装置が設置されたことを検出し、
前記第２のネットワーク装置が設置されたことを検出した時、前記第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定することを特徴とするネットワーク設定方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記の目的を達成するために、本発明の一つの側面は、ネットワーク設定プログラムが、ホスト装置に、ネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報を保持させ、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を取得させ、取得された前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を保持させ、前記ネットワークに前記第１のネットワーク装置と異なるネットワーク装置が設置されることを検出させ、第２のネットワーク装置が設置されたことを検知した時、検出された第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、保持された前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定する設定指示を出させること、を実行させる、ことである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
更に、上記の発明において、その好ましい態様は、前記第２のネットワーク装置への前記設定指示は、前記第２のネットワーク装置のＩＰアドレスが工場出荷時のＩＰアドレスである場合に実行される、ことを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記の目的を達成するために、本発明の別の側面は、ネットワーク設定装置が、ネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報、前記第

１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報、及び前記第１のネットワークの機種を記憶する記憶部と、前記ネットワークに第２のネットワーク装置が設置されたことを検出する検出部と、前記第２のネットワーク装置が設置されたことを検出した時、前記第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定するネットワーク設定部と、を有する、ことである。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】

上記の目的を達成するために、本発明の更に別の側面は、ネットワーク設定方法において、ホスト装置でネットワークに設置された第１のネットワーク装置のネットワーク情報を含む設定情報を保持し、前記ホスト装置で前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報を取得して保持し、前記ホスト装置で前記ネットワークに第２のネットワーク装置が設置されたことを検出し、前記第２のネットワーク装置が設置されたことを検出した時、前記第２のネットワーク装置が前記第１のネットワーク装置と同機種で、前記第１のネットワーク装置の稼働状況に関する情報が稼働していないことを示す情報である場合、前記第１のネットワーク装置の前記設定情報を、前記第２のネットワーク装置に設定する、ことである。